

自己評価(2階セキレイユニット)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入所者様への対応の仕方、支援の仕方、家族との連携を図る際、常に理念に立ち返り「入所者様が、穏やかな笑顔で、いられるよう」ケアの有り方を検討しています。		
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	入所者様への対応の仕方、支援の仕方、家族との連携を図る際、常に理念に立ち返り「入所者様が、穏やかな笑顔で、いられるよう」ケアの有り方を検討しています。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	開設当初より隣近所への挨拶や、併設の施設との夏祭りへの、お誘いをしています。また、ご近所の方より、家庭菜園で、収穫された野菜等を、お裾分けして頂いたりお付き合いをさせて頂いています。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヶ月に一度の、推進会議を開き、安心ケアセンターの方々に、ご指導いただき、地域の方々との連携を通じて、地域の福祉活動と共に、サービスの向上に努めていきたいと思えます。		
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険に関して相談窓口に出向いて、相談に乗ってもらうこと度々です		
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関しての研修に参加したり、勉強会を実施し指針に基づいて日常的なケアが身体拘束に当たらないか検討しています。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束・虐待防止の研修に参加した職員を中心に話し合いを持ち、身体拘束がもたらす多くの弊害、身体拘束廃止に向けたなすべきこと等をお互いに確認しあいました。		

グループホームかしわい 自己評価(2階セキレイ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	当ホームにも成年後見人制度を昨年利用された方がおり、御家族と共に取り組みました。制度に関しての理解を深めるようにしています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約時に充分なる説明、理解を頂いております。また、リスクや重度化、見取りについては指針に基づいて説明し理解を得るよう勤めております。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	常に入所者に声掛けをして、不満、苦情を早くに気づき対応に勤めています。入所時に不満、苦情の窓口の説明をし、推進会議などでの意見をいただけるように働きかけています。		
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に会議を開き運営に関する要望、意見を聞く機会を設け、反映させたいと思っています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	興味のある事や、学びたい事等把握し資格取得について勉強会の機会や試験日等の調整をしている。各自が頑張っている様子を声掛けしたり、向上心を持って働けるよう応援したりしています。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員からの希望を取り入れ計画的に研修を受ける機会を持ち、法人、及びホーム内の、勉強会も推進しております。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	千葉市のグループホーム研修会に参加し、グループホーム同士の交流を持ち、サービスの向上に役立てています。		

グループホームかしわい 自己評価(2階セキレイ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	常に入所者に声掛けをして、不満、苦情を早くに気づき対応に勤めています。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	月に一度入所者さんの状況報告をして、面会時などに、御家族の要望を引き出し、苦情対応、状況説明に対応しています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者の個性を大切に考え、特徴を捉え、本人の困っていることや、不安に感じていることなど、時間をかけて、傾聴し、心情を探りながら聞く機会を多く持つようにしています。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者に寄り添い沢山話を聞き、感謝したり、いいところをほめてあげたりの会話が 많이。特に調理や、掃除の仕方、趣味のもの作りは、すばらしいものがあります。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との関係は、認知の症状や、問題等を共有し、外出外泊時も協力しあい、お互いの思いを言ったり、聴いたり日常の支援をご家族とともに作っていかれるように配慮しています。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	少しずつ忘れることが多くなり、ご家族の話や、お孫さんの話などを盛り込み会話を楽しんでいます。面会にこられたときなど、おもてなしをして関係作りの、お手伝いを支援しています。		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は利用者の趣味や、嗜好を把握し、会話に盛り込んだり、一緒に散歩に出かけたり、潤滑油の役割が出来るように勤めています。		

グループホームかしわい 自己評価(2階セキレイ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院になられた方が、退院されたら戻りたいという本人ご家族の希望に添えるように相談に乗ったり、話し合いの場を設けています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の思いや希望を大切に、受け止めて、安心できる家庭的な環境に努めています。ご家族からの情報も得るようにしています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	出来るだけこれまでの生活環境に近い暮らし方が出来るよう支援しています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	有する能力において支援しています。利用者の小さな動作や心理面を見逃さないように情報を共有しています。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の希望、ご家族の思いを伺い、施設の運営会議で話し合い、ケアプランを作成しています。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ファイルに食事、排泄、保清、身体状況等を記載し、又、その日の様子を記録しています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人やご家族の状況に応じて通院等のご家族と連絡を取り、協力して行っています。入院時も、洗濯物の入れ替えや面会に行くなどして、不穏にならないように支援しています。		

グループホームかしわい 自己評価(2階セキレイ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	推進会議を通じて、各機関と連携がとれご指導いただきながら支援しています。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族と相談の上、同法人内の、病院、クリニックへの受診を支援しています。		
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	管理者が看護師資格を有しており、体調管理や医療面での相談、健康管理を行っています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医師やご家族との相談のもと早期退院に向けて対応しています。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族の協力のもと、ご希望であればターミナルの件も含めて契約時に話しています。そのような状態が発生した場合、協力病院や主治医と相談し今後の考えられる状態を話し合いお互い合意の上で、ケアプランに記載しすすめる体制はできています。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	入職すると緊急時の対応について研修を受け各自が対応できるよう勉強会を開いています。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	法人内で消防署の方たちの指導を受け防災訓練を実施し避難場所等について話し合いの機会を設けています。		

グループホームかしわい 自己評価(2階セキレイ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーについての意識向上を図り、日常のかかわりの中でも常に意識しながら支援しています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人一人の理解力やコミュニケーションの能力に合わせた話かけを行い解かって貰える様に支援し常に主体性を尊重し、自己決定又は、決めてもらえるような働きかけを心がけています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大勢で歌うときやレクのときも表情や状態などに気配りをし、外出、買い物等の希望があるときはすぐに出来なくても約束をして対応する様にしています		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替え等ご自分で出来るように支援しているが、介助が必要な方やご自分で決めにくい方には、本人の意向に沿うような支援をしています。希望の理美容店に行って、カットされたりしています。希望により、髪を染めてあげることもあります。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理、盛り付け、片付け等は一緒に楽しみ、種播きから世話をした野菜を食卓にだし、一緒に食べたりしています。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量の把握をし、食事の形態等の工夫をしています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの重要性を話し合い毎食後のはみがき、声かけして習慣づけるようにしています。歯磨きが、ご自分で出来ない方には、支援しています。		

グループホームかしわい 自己評価(2階セキレイ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	時間や習慣を把握しトイレ誘導を行ってトイレでの排泄を促すように配慮しています。排泄チェック表を使用し排泄パターンの把握に努めています。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便について記録し、水分摂取に注意し日中はさんぽ、レク等取り入れ体を動かすようにしています。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	介助が必要な方には安全面に気を配りその人に合わせた介助方法をくふうしている。介助場面が多いので夜間の入浴は行っていません。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	テレビのラジオ体操を活用し、手足の運動や、体を動かすことにより、穏やかな睡眠を促したり、一人一人の体調面を考慮して休息が必要な人には午睡を取り入れたりしています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別ファイルに薬の内容・副作用等ファイルされ全職員が理解するようにし、薬に対する状態の変化等についてすぐに管理者に報告する体制を取っています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	調理や盛り付け、洗濯物を畳んだり、各自が得意なものを発揮してもらうように働きかけています。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩を、毎日の日課として、外出の機会を増やし肌で季節感を感じてもらえるように工夫しています。また、地域の飲食店に出かけて、食事をすることもあります。		

グループホームかしわい 自己評価(2階セキレイ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自分でお金の管理が出来る人には買い物の時に付き添い地域での社会性を継続してもらうように、支援しています。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状や、絵手紙を送ったりできるように、支援しています。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テーブルや椅子は、シンプルなものを配置して家庭的な雰囲気になるように工夫しています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気のあった人とおしゃべりをしたり、趣味の事をしたり、皆で歌を歌ったり、また、お茶を飲んだりして、楽しみのある環境作りを工夫しています。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	持ち込みの制限はしておらず、馴染みの物、写真などを飾り、居心地良く過ごせるようにしています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりをつけ安全面に配慮しています。歩行困難な方には、車椅子を用意し、活動的に生活できるよう工夫しています。		